

憩の森（仮称）の管理における指定管理者制度活用の実施方針

令和4年6月

1 基本的事項

(1) 施設の概要

所在地	渋川市伊香保町
設置年月日	昭和55年4月1日
敷地面積	36ha
主な施設・建物	研修館（鉄骨造921.41m ² ）、森林学習展示館（木造平屋建613.70m ² ）

(2) 施設の設置目的

森林がもつすぐれた自然環境を保全し、森林空間の利用を通じて県民の保健、休養及び学びに資することを目的としている。

(3) 指定管理者制度活用の目的

民間等が持つ創造的で柔軟な発想や豊富な知見を活用することにより、管理運営経費の節減を図りながら、伊香保温泉等の観光地に近接するなどの恵まれた立地環境を活かし、施設を活性化させることにより、県民サービスを向上させる。

(4) 指定の期間（予定）

1年間（令和5年4月～令和6年3月）

（理由：伊香保森林公園との一体管理に向け、次回の指定管理の開始年度を一致させるため。）

(5) 利用料金制採用の有無

利用料金制を採用しない。

（理由：当施設の有料施設は、大会議室、小会議室、講義室であるが、収入が僅か（R2実績8,900円、使用料：大会議室・講義室890円/半日、小会議室200円/半日）であるため。また、新型コロナウイルス感染症対策等による影響も受けることが予想されるため。）

(6) 指定管理者に支払う施設管理費用の上限額（予定）

22,573千円（消費税及び地方消費税を含む1年間の総額）

(7) 施設の管理運営方針

ア 設置目的を達成するために施設の効率的かつ効果的な管理を行い、利用者の利便性の向上や管理経費の節減を図る。

- イ 県民の保健、休養、自然体験及び森林環境教育に資する活動を促進するための事業を最小の経費で最大の効果が出るように実施する。
- ウ 利用者の意見を管理運営に反映させ、利便性の向上や事業内容の充実などの県民サービスの向上を図る。
- エ 地域の観光振興や活性化に寄与する。
- オ 施設の設置目的及び地域活性化に寄与するため、積極的に自主事業に取り組む。

(8) 指定管理者が行う業務の範囲（業務内容、要求水準、成果目標等）

ア 業務内容

- (ア) 森林公園内における施設及び付属施設の維持管理に関する業務
- (イ) 有料施設（大会議、小会議室、講義室）の貸出し及び使用料徴収に関する業務
- (ウ) 森林ボランティア支援センターに関する業務
- (エ) 上記のほか、森林公園管理に必要な業務

イ 要求水準

募集要項において、個々の事業区分ごとに具体的な要求基準を定める。

ウ 成果目標

施設利用者数 10,000人（令和5年度）

2 募集及び候補者選定等に関する事項

(1) 募集の方法

公募とする。

(2) 審査の方法及び選定基準等

ア 審査の方法

候補者選定における透明性・公平性を高めるため、県職員以外の民間委員で構成する選定委員会を設置し、応募者から提出された事業計画書等について、募集要項（選定要項）において定める選定基準に基づいて総合的な審査を行う。

イ 選定委員会の構成

財務会計及び労務管理等に関する有識者、森林分野に関する有識者、施設利用代表者、その他の有識者から5名程度を選任する予定である。

ウ 選定基準

- (ア) 指定管理者の指定を受けようとする団体が、事業計画に沿った管理を安定して行う能力を有すること。
- (イ) 事業計画の内容が、県民の平等な利用を確保できるものであること。
- (ウ) 事業計画の内容が、施設の管理運営に係る経費の縮減を図るものであること。
- (エ) 事業計画の内容が、当該施設の設置の目的を効果的かつ効率的に達成できるものであること。
- (オ) 事業計画の内容が、利用者要望への対応、地域貢献、防災対策・緊急時の対応等、その他必要と認める基準を満たすものであること。

※ 選定基準ごとの詳細な審査項目、審査内容及び配点については、募集要項

(選定要項)において定める。

エ 審査経過の公開

応募者及び提出された事業計画の概要、選定委員会の審査概要及び審査結果は、応募者の利益及び選定の公正性を損なわない範囲で、逐次公開する。

3 今後の日程（予定）に関する事項

実施方針の県議会への報告	令和4年6月
選定委員会の設置	6月
募集期間	6月～8月
審査の実施	9月～10月
候補者の選定（候補者としての適否の判定）	11月
指定及び債務負担行為に係る議案上程（審査経過の県議会への報告）	11月
指定、協定の締結、引継	令和5年1月～3月
指定管理期間開始	4月

4 （参考）現在の管理状況

(1) 施設の管理者

群馬県 環境森林部 森林局 森林保全課

(2) 施設管理経費の実績（指定管理業務相当部分）

令和2年度実績 収入 185千円 支出 19,972千円

（森林学習センター及び森林ボランティア支援センター経費の合計）

(3) 施設利用の実績

令和3年度実績 施設利用者数 8,171人